

天城山山行報告書

(山域) 伊豆半島 天城山

(コース) 天城高原ゴルフ場～万二郎岳～万三郎岳～天城高原ゴルフ場

(日時) 11月23日(水曜日)

(天候) 晴れ後曇り

(山行タイム) ゴルフ場 7:43～万二郎岳 8:40～万三郎岳 9:45～ゴルフ場 11:40

(参加者) CL: 内堀(記録)・小宮山

(山行報告)

前日(火曜日)の夜、幕張本郷駅 22:00 待合わせして出発、湾岸線から大井 JCT を進み大橋 JCT 経由して、東名道に入る。車は多く天下の東名道と感ずる。ナビが大井松田 IC から箱根を向かうように指示する。箱根より箱根新道に入る予定がボーとしてしまい、箱根小涌園や芦ノ湖に進んでしまった。この道は運転には良くなく意外とくねくねと時間だけが掛ってしまった。伊豆スカイラインに無事乗れ、スカイポート亀石まで進むが、芦ノ湖から霧が掛り途中、霧が切れたが、伊豆スカイラインに入ってから特に酷くなり、数 m 先が見えず中央ラインを目印に進み、ようやくスカイポート亀石に到着した。軽く宴会を行い就寝した。星空は良く見え明日の晴天を感ずる。翌朝 6:00 に起床する。風は強く生暖かい。青空が見えるが、雲の流れが速い。午前中に終わらせたいと思う。早々に片付け、準備を済ませ、天城高原ゴルフ場を目指す。約 25 分程度で到着する。ここで、登山靴を履いて朝食を取り、出発する。駐車場には結構車が止まっていた。

車道を渡り登山口標識脇を進むといきなりの下降である。庭園風の登山道を歩き続け、万三郎岳分岐を過ぎ、一向に登りが来ない平行移動である。途中、目の前にシカが表れた。途中の道路にも鹿が道路を渡っていたね。伊豆はシカが多いのかなと思いながら進む。

30 分を超えた辺りから登りとなり万二郎岳直下は急登であった。途中、登山道の道はグチャグチャの泥んこ状態に悪戦苦闘するが、ズボンの裾野内側は泥で汚れる。また靴は酷い状態にある。そういえば、ゴルフ場(駐車場)にはトイレがあり水場も用意され、ブラシがあった。このためか? と思いながら、このコースは汚れる登山道なんだと言い聞かせながら万二郎岳に到着した。途中、他パーティには抜かされることが無く、何パーティか抜かした。万二郎岳には複数パーティが居て、記念撮影・休憩を取っていた。我々も記念撮影を行い、軽く物を入れ出発して、万三郎岳を目指す。下降してその後は、何回か登り・下りを繰り返すと、そこは、万三郎岳である。ここでも記念撮影をして、時計を見ると 10:00 前である。午前中に下山出来そうである。東名の渋滞を考えると早く抜けたいと思い、下山を開始する。

主脈縦走路を進み、涸沢分岐点を目指す。その後は石楠花コースを進むが、初めの急坂を降りた以外は、山を 2-3 個巻いて行く平行移動である。四辻を過ぎ、登山靴が泥んこになった。途中の石楠花コースは登山道の風の抜けが良いのか大半が乾いていた。駐車場には 11:40 頃到着出来、ホットー息。靴を脱ぎ水場に行き、泥をブラシで擦り綺麗さっぱりとした。うーんまだ、12:00 前ですね。早目に出発したいと、ナビをセットして帰葉した。道路も空いており順調に進み、夕方には千葉に到着した。

ちば山に入会した時に、望年山行で天城山の交差縦走を申込み、天候により交差縦走は出来ず、残念であり、是非今度はと思っていた。ようやく念願になった山行であった。

次回は主脈縦走をしたいと思う。人を募り交差縦走したいと思った。



